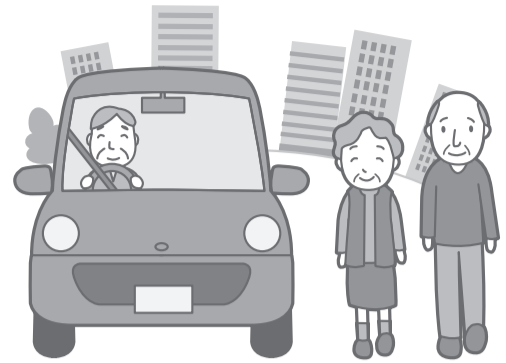


高齢者の交通安全

悲惨な事故を起こさないために――



全国的に交通事故による死者数は、減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者が占める割合は高くなっています。

市内においては、平成28年の交通事故死者数は6人。そのうち65歳以上の人が4人と約7割を占めています。

今回は、高齢者の事故を防ぐために気をつけるべき点や、高齢運転者を対象とする免許更新手続きの変更などについて紹介します。

詳しくは、生活安全課（☎47-7386）へ。

75歳以上の運転者の皆さんへ 免許の更新手続きが変わります

高齢運転者の交通安全対策の推進を目的に、加齢による認知機能の低下に着目した免許制度の見直しが行われました。

平成29年3月12日から、免許の更新手続きにおいて、新たに、認知機能検査を実施します。

▶対象／75歳以上の運転免許を持つ人 ※平成29年中は、誕生日が昭和17年8月12日以降の人

▶備考／対象者には、「認知機能検査受検案内」のはがきを送付。免許更新手続きには3日必要

特に夜間に注意

高齢になると身体の衰えや、情報を処理する力が落ちることで、事故に巻き込まれやすくなるほか、ドライバーとして運転中に事故を起こしやすくなります。また事故は、午後4時から午後8時に多く発生します。高齢者本人や高齢でない人も、次の事項について確認し、交通安全に努めましょう。

夜間の交通事故防止

笑顔で「ハ、ハ、ハ」運動



早めのライト・オン!
自分の車の存在をアピール



ハイビームが基本!
ハイビーム＝走行用前照灯
ロービーム＝すれ違い用前照灯



反射材の装着!
歩行者・自転車に早く気付く



免許の更新手続きの流れ

①講習センター
認知機能検査を実施

②自動車学校
認知症機能検査結果に応じて講習を実施

③講習センター
免許の交付を受ける

▶認知機能が低くない場合は②へ
▶認知機能が低くなっていると判断された場合は、医師の診断を受けていただくこととなり、「認知症」と診断された場合は運転免許の取り消しや免許停止処分の対象となります



問い合わせ
大垣警察署
交通第一課免許係
(☎78-0110)

その電話、ちよつと待って… “還付金がある”は、騙しの手口!

市内において、振り込め詐欺などの手口で被害に遭う人が増えています。今回は、詐欺の中でも被害が増えている「還付金詐欺」を中心に、対処方法などについて紹介します。

詳しくは、大垣警察署生活安全課（☎78-0110）へ。

被害額が急増!

平成28年の市内での振り込め詐欺などの件数は34件で、前年に比べ17件増加。被害総額は、約8,809万円と前年に比べ約5,762万円増えています。

また、被害にあった34人の内訳を見ると、27人が65歳以上の高齢者、27人が女性となっており、高齢者・女性への被害が高い割合を占めています。

被害が増えている「還付金詐欺」!

さまざまな詐欺の中で、最も被害の多い手口が、「還付金詐欺」です。

この詐欺は、市役所や年金事務所などを装い、税金や医療費などの還付を口実にして、携帯電話で言葉巧みにA

TM(現金自動預払機)を操作させ、現金を送金させるというものです。不審な電話を受けた市民から市役所への問合せが増えています。



今年、実際にあった事例

▶事例／保険料の払い戻しを名目とした「還付金詐欺」(平成29年1月発生)

▶被害／80歳代男性

▶内容／男性宅に市職員を名乗る男から「後期高齢者医療保険の還付金手続きの期限は今日までです」と電話があった。男に指定された

詐欺に遭わないために

- ★「お金を返すからATMに行け」は詐欺を疑うこと
- ★相手から言われた連絡先ではなく電話帳などで担当部署(市役所や税務署など)の連絡先を調べて、事実を確認すること
- ★少しでも不審な電話があった場合は、一人で判断せず、家族や最寄りの警察署、交番、市の消費生活相談室に相談すること
- ★市役所をはじめ、税務署や年金事務所などが携帯電話を使って、ATMの操作方法を指示することは絶対にありません

ATMに行き、金融機関職員をかたる男からの指示を携帯電話で受けながら、男の指示どおりにATMの操作を行い、お金を振り込み、だまし取られてしまった。

このような事例は一例です。上記の注意点を今一度ご確認ください。